

定時社員総会議事録

1. 召集年月日 2020年5月15日
1. 開催場所 北海道立道民活動センター かでの2・7 ホール
(札幌市中央区北2条西7丁目)
1. 開催日時 2020年6月20日 13:00～14:14
1. 総社員数 2582名(2020年4月1日現在)
1. 出席した社員数 1354名 内訳 本人出席 33名
委任状出席 484名
書面表決 837名
1. 会長あいさつ 総会出席、委任状・書面表決の返送についての御礼を述べ、本日の議案審議をお願いする。

1. 議長選任の経過

定刻に至り、司会者が2020年度 公益社団法人北海道栄養士会定時総会の開会を宣言し、理事会の決議に基づき会長が招集し開催したこと、並びに定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。議長の選任方法を諮ったところ、執行部一任の発言があり、出席者全員の賛成により、富永史子氏が議長に選任された。また、副議長には塩谷美貴子氏、書記に山田朋枝氏、石井智美氏を選任された。続いて、議長より議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、満場異議なく賛成があったので、議長は次の者を議事録署名人に指名した。

議事録署名人 山部秀子氏、小山奈緒美氏、水谷真奈江氏
議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

1. 議事の経過の要領及び議案別決議の結果

第1号議案 2019年度事業報告

山田朋枝総務部長、水谷真奈江組織部長、石井智美研修企画部長、小山奈緒美広報部長、川畑盟子副会長、山部秀子会長が、北海道栄養士会、各支部、各協議会の事業報告をした。

議長が、2019年度収支決算について質問を募ったが発言はなかったため、この報告について承認を諮ったところ、賛成多数により承認された。

第2号議案 2019年度収支決算報告並びに監査報告

山田朋枝総務部長が収支決算報告を行い、戸谷典子監事が監査報告を行った。

議長が質疑を募ったが発言はなかった。

議長がこの報告について承認を諮ったところ、賛成多数により承認された。

第3号議案 役員改選

1. 選挙管理委員会委員長である木村宣哉氏(新型コロナウイルス感染症の感染予防措置により、欠席のため、司会が代読)が選挙結果について報告した。

会長に中川幸恵氏、副会長に吉田めぐみ氏、川畑盟子氏、加藤由美子氏が立候補し、選挙の結果、代議員数 190 名、投票数 155 名のうち中川幸恵氏が 信任 152 票を得て信任された。

また、副会長は吉田めぐみ氏が 110 票、川畑盟子氏が 106 票、加藤由美子氏が 78 票を得て、吉田めぐみ氏、川畑盟子氏が当選した。

会長として信任された中川幸恵氏の理事就任について議長が議場に諮ったところ、賛成多数により承認された。中川幸恵氏は理事就任を承諾した。

副会長として当選した吉田めぐみ氏、川畑盟子氏の理事就任について、それぞれ議長が議場に諮ったところ、賛成多数により承認された。二名は理事就任を承諾した。

2. 山部秀子会長より、常務理事として理事会に推薦された鈴木敬子氏の理事就任の承認の説明があり、議長が議場に諮ったところ、賛成多数により承認された。鈴木敬子氏は理事就任を承諾した。

3. 山部秀子会長が、任期満了による退任理事 11 名の報告をした。

空知支部長 小菅 ルミ子 氏 後志支部長 本間 立子 氏
日高支部長 池本 純子 氏 旭川支部長 辻廣 博美 氏
留萌支部長 石川 千春 氏 研究教育栄養士協議会長 石井 智美 氏
公衆衛生栄養士協議会長 中澤 祥子 氏
地域活動栄養士協議会長 星川 ミチ子 氏
勤労者支援栄養士協議会長 奥村 いずみ 氏
福祉栄養士協議会長 野城 執 氏 会長 山部 秀子 氏

この 11 名の理事退任について議長が議場に諮ったところ、賛成多数により承認された。

4. 山部秀子会長が、各支部、各協議会から推薦された新任理事 10 名と、継続の重任理事 11 名の報告をした。

新任理事 10 名 空知支部長 野田 史子 氏 後志支部長 高橋 千恵 氏
日高支部長 津川 陵子 氏 旭川支部長 長瀬 まり 氏
留萌支部長 笹嶋 良子 氏
研究教育栄養士協議会長 長谷部 幸子 氏

公衆衛生栄養士協議会長 佐々木 香緒理 氏
地域活動栄養士協議会長 鈴木 玲子 氏
勤労者支援栄養士協議会長 佐田 幸恵 氏
福祉栄養士協議会長 加藤 幾子 氏

重任理事11名 札幌石狩支部長 小山 奈緒美 氏 函館支部長 木幡 恵子 氏
室蘭支部長 渡辺 尚子 氏 苫小牧支部長 斉藤 幸子 氏
名寄支部長 川村 幸栄 氏 十勝支部長 木村 千恵里 氏
オホーツク支部長 酒井 多恵子 氏 宗谷支部長 笹谷 百合子 氏
釧根支部長 佐々木 可奈恵 氏(戸籍名 天野可奈恵)
学校健康教育栄養士協議会会長 水谷 真奈江 氏
医療栄養士協議会会長 山田 朋枝氏

以上、21 名の新任・重任理事の承認を議長がそれぞれ議場に諮ったところ、賛成多数により承認された。また、21 名は理事就任を承諾した。

5. 山部秀子会長が監事選任に関する件について説明した。

理事会により推薦された

内部監事 新任 星川 ミチ子 氏、外部監事 重任 黒澤勝昭 氏

議長が監事の選任について議場にそれぞれの承認を諮ったところ賛成多数により承認された。星川 ミチ子氏と黒澤勝昭氏は監事就任を承諾した。

報告事項に先立ち、山部秀子会長より公益社団法人は翌年度事業計画と予算を、前年度3月末日までに北海道に提出義務があるため、これを総会決定事項からはずし理事会決定事項と定款で定めたため、総会ではこれを報告事項とした旨の説明があった。

報告事項 1 2020 年度事業計画

山部秀子会長、山田朋枝総務部長、水谷真奈江組織部長、石井智美研修企画部長、小山奈緒美広報部長、川畑副会長が、北海道栄養士会、各支部、各協議会の事業計画を説明した。

議長が質問を募ったところ、名誉会員 古水扶美江氏から、支部・協議会の事業について内容的に申し合わせ団体の域を出ていない。公益社団法人化の折に山部会長から地域住民のために組織として専門性を提供していくと発言された。視点をもっと大きく見て欲しい。また、栄養ケア・ステーションについて、結果を検証して次につなげていくように事業に取り組んでいただきたい。医師会などの連携は取れているのでしょうか。他の医療団体との連携は非常に大切で会の発展に不可欠であるとする。役員を選出について、支部長・協議会長と理事との併任は役割が重すぎではないか、組織のあり方として組織が固定してしまわないか。選出の方法も明確にして欲しい。役員選

出について見直しを以前の総会で要望したが、未解決かと思う。すべての理事を立候補制にして選挙するというのが非常にオープンで会員にわかりやすくなっていくのではないか。また任期について、重任の回数を制限している他の団体もあるので規約として記載する形で検討いただきたい。また、今年度北海道からは日本栄養士会理事を選出しなかったことは残念ではあるが事情があると推察している。監査報告内容について、すべて完全に履行されているという評価はありがたいが、プラスして具体的にこの点は努力してほしいという点も示して欲しい。それによって会はより良くなる。旧役員の皆さんはお疲れ様でした。新役員に期待しておりますと要望した。

山部会長が、たくさんのご要望がありましたが、答えられる点について回答させていただくとし、各支部・協議会の事業計画は、総会資料の限られた紙面では解説しきれないが、各支部・協議会ともに公益社団法人の立場を踏まえてよりよい方向の研修を行うよう各役員が努力していると感じている。医師会や他の職能団体との連携は年2回行われる医療職能団体の懇談会を通じ、色々な方々との繋がりを少しずつ作っていると説明した。

また、任期については、新体制で今後検討され、理事がそのまま支部長・協議会長になることについては、この度の組織編成で14支部を継続すると結論になった際、支部長と理事を別にするという意見も出ていたが、検討の結果理事会採決を経て現行体制と決定したと報告があった。

川畑副会長が、栄養ケア・ステーションの啓発活動について、北海道医師会に数回訪問し、全道の医師会に向けて栄養ケア・ステーションパンフレットを郵送いただいた。介護支援専門員協会にもパンフレットを配布し、訪問看護ステーションにも訪問している。その伝手で札幌市介護支援専門員協議会の広報誌に栄養ケア・ステーションに関する記事の執筆依頼をいただき、包括支援センターから栄養ケア・ステーションの紹介を希望する連絡をいただいている。また、自助努力の一環として色々な学会で発表しており、胃瘻研究会の先生から直接連絡があり、北海道の栄養ケア・ステーションの現状について報告の依頼があった。日本在宅訪問管理学会の全国会での報告依頼やその他、日本栄養改善学会北海道支部会での発表や、介護支援専門員協会が江別で開催したイベントのブース出展を行っていることを報告した。

栄養ケア・ステーションの全体の受託件数については、2018年度236件、2019年度575件と倍に増えている。登録会員に対して仕事を依頼した延べ人数は2018年度270人、2019年度は652人となっている。また、栄養支援を行った道民の人数は2018年度2455人、2019年度4432人、また、登録会員数は2018年度77名、2019年度末で128名、昨日時点で134名となっていると報告があった。登録者の中には仕事を持っている者もいるため、条件が合わずすべての登録者に仕事を回すことができるわけではないが、受託できる方を増やしていきたいと報告した。

議長が他の質疑を募ったが発言はなかった。

報告事項2 2020年度収支予算

山田朋枝総務部長が、収支予算を説明した。

全会員に総会議案書とともに送付した発言通告書様式にて提出があった2点の質問・要望につ

いて

函館支部の西田会員が発言通告書にて、事業減となりましたが、繰り越しに移すよりも次年度の会費減免措置をお願いしたいと要望した。

山部会長が、北海道栄養士会では、北海道の道民栄養改善事業補助金やヤクルト本社の協賛金のように、事業を行うことによって補助されるお金も使って研修事業を行っているため、会費における研修事業としての割合はそう多くないことから、次年度の会費減免は難しい。新役員体制で決定するため断言はできないが、秋期全道栄養士研修大会の資料代について会員は免除するなどの形で会員に還元したいと回答した。

無記名の会員が発言通告書にて、福祉の総会資料に記載された予算書の収支が-808,516とマイナスで作成されている理由を教えて欲しいと質問した。

山部会長が、協議会の予算計画書の収入の欄には受講料収入などがあり、支出では事業や協議会運営にかかる費用が計上され、収入額から支出額を引いた差額が北海道栄養士会本部からの活動資金として予算が立てられるため、マイナス表記にはなるが赤字ということではないと説明した。

議長が質疑を募ったが発言はなかった。

報告事項3 名誉会員

山部秀子会長が、岩本園枝会員を定款第3章第5条4項により理事会にて名誉会員に承認されたことを説明した。

議長が、名誉会員報告について質問を募ったが発言はなかった。

以上をもって報告事項を終了した。

議長が、会場にその他の発言を求めたが、発言はなかった。

以上をもって本総会における報告及び全議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣した。

(以下敬称略)

出席した理事

山部 秀子	吉田めぐみ	川畑 盟子	鈴木 敬子	小山奈緒美	小菅 ルミ子
本間 立子	木幡 恵子	渡辺 尚子	斉藤 幸子	池本 純子	辻廣 博美
石川 千春	川村 幸栄	木村千恵里	酒井多恵子	笹谷百合子	天野 可奈恵
水谷真奈江	石井 智美	中澤 祥子	星川ミチ子	奥村いずみ	山田 朋枝
野城 執					

出席した監事

戸谷 典子 黒澤勝昭

議事録作成者

高橋 望

2020 年 6 月 20 日

議事録署名人 会 長 山 部 秀 子 ⑩

議事録署名人 議 長 富 永 史 子 ⑩

議事録署名人 小 山 奈緒美 ⑩

議事録署名人 水 谷 真奈江 ⑩